

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL http://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	698	△13.8	△54	—	△22	—	△30	—
26年6月期第1四半期	809	115.5	△117	—	△126	—	△108	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △29百万円(—%) 26年6月期第1四半期 △107百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△3 54	—
26年6月期第1四半期	△12 64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,693	1,248	73.4
26年6月期	1,774	1,275	71.7

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 1,242百万円 26年6月期 1,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	△13.0	△20	—	△30	—	△30	—	△3 45
通期	3,100	△4.4	140	—	100	—	100	—	11 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期1Q	8,699,000株	26年6月期	8,699,000株
27年6月期1Q	60株	26年6月期	60株
27年6月期1Q	8,698,940株	26年6月期1Q	8,607,973株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成26年7月1日～平成26年9月30日)における我が国経済は、消費税増税や物価上昇懸念、及び天候不順の影響を受けつつも、経済政策や金融緩和を背景に雇用情勢や企業収益が改善し、回復基調となっております。

当社グループの主な関連業界であるインターネット業界を取り巻く環境といたしましては、スマートフォンの世帯普及率が54.7%となり(出所:内閣府「消費動向調査」)、急速な広がりを見せております。

このような環境のもと、当社におきましては、新規利用者獲得と既存利用者の利便性向上を目的としQ&Aコミュニティ「OKWave」のリニューアルを実施しました。企業向けサービスにおいては、「OKWave」のデータをユーザーサポートに有効活用する当社独自の製品の新規導入に注力いたしました。

以上の結果、売上高は計画通りの進捗となりましたが、前期においてソーシャルメディア事業、ナレッジマーケット事業、及び営業アウトソーシング事業の一部サービスの整理を行ったことから、698,340千円(前年同期比13.8%減)となりました。利益面では、コスト削減効果により損失幅が縮小し、営業損失は54,917千円(前年同期117,040千円の損失)となりました。また、貸倒引当金戻入額、並びに為替差益の計上により、経常損失は22,027千円(前年同期126,240千円の損失)、四半期純損失は30,810千円(前年同期108,838千円の損失)となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	698,340	△111,442	△13.8
営業損失(△)	△54,917	62,122	—
経常損失(△)	△22,027	104,213	—
四半期純損失(△)	△30,810	78,027	—

② 事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWave(オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

当期においては、さらなる利用者獲得とサイト活性化のため、「OKWave」のリニューアルを実施しました。加えて、PCからスマートフォンやタブレット端末への移行が進む市場環境に対応し、スマートフォン向けサイトの運用に注力したほか、iPhone向けアプリの刷新を行いました。また、前期に開始した、Q&Aビッグデータを分析したうえで投稿にマッチした広告を配信する、ターゲティング広告の販売が好調に推移しました。

以上の結果、PC経由の利用者数減少は想定範囲内にとどまりましたが、サービスの選択と集中による影響と、広告単価低下の影響を受け、売上高は前年同期比減少となりました。費用面では、前期に行った不採算サービスからの撤退及びリソース再配置により、主に売上原価を圧縮しました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	126,908	△34,385	△21.3
セグメント利益	327	13,450	—

・ エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ(よくある質問)を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBiz(オウケイビズ)」など、企業向けのソリューションを提供しています。

当期においては、「OKBiz」の新規導入企業が順調に増加したほか、ソーシャルメディア事業のサービス「OKWave」

のデータを有効活用することで導入企業のお客様の自己解決を支援する製品の提供が進みました。

以上の結果、売上高は前年同期比で増加しました。費用面では、営業体制強化に伴い固定費が増加し、セグメント利益は小幅な成長となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	281,636	15,196	+5.7
セグメント利益	112,228	818	+0.7

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、複数の課金制モバイルサイト等(※)を運営しています。

当期においては、課金制モバイルサイト「こんまり♪片付けレッスン」において、auのスマートフォン向けサービス『auスマートパス』を経由した会員獲得が順調に推移しました。また、「らくらく育児モバイル」では、ソーシャルメディア事業のサービス「OKWave」と連携した企画を開催し、相互送客による事業間シナジーの創出を狙いました。

以上の結果、売上高は前年同期比で2倍以上の高成長となりました。費用面では、開発費及び広告宣伝費が売上に對し先行発生しておりますが、損失幅は縮小しました。

なお、マイクロソフトコーポレーションと協業のショッピングSNSサイト「myFave」は、今後の当社の方針、並びに協業先であるマイクロソフトコーポレーションの全世界戦略を鑑み、平成26年9月30日をもってサービスを終了しておりますが、今後も同社との提携関係は継続してまいります。

(※) スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	42,138	25,265	+149.7
セグメント損失(△)	△22,245	29,061	—

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制の多言語コンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供するとともに、パイリンガルや技術者の派遣等を行っております。

当期においては、地方自治体への営業を重点的に行いました。加えて、旅行業を中心に、中央省庁案件の営業を強化しました。

以上の結果、継続契約も獲得し、注力分野である多言語コンタクトセンターの業績は順調に進歩しましたが、今期から非注力分野と位置付けている一般派遣の売上高が減少しました。費用面では、体制強化にともなう人員増加の影響により、固定費が増加しました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	214,736	△7,962	△3.6
セグメント損失(△)	△14,558	△27,595	—

・営業アウトソーシング事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの事業である営業アウトソーシング事業では、通信回線販売業界において、短期・中期的に、顧客企業が必要とする販売スタッフの労働力を、業務請負および派遣契約により提供しています。

当期においては、市場環境を鑑みた事業からの撤退を見据え、リソースを他事業に移管いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比減少となりました。費用面では、大幅な削減を行い、セグメント損失幅は前年同期比で縮小しました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	32,921	△109,556	△76.9
セグメント損失(△)	△1,253	487	—

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、貸付金の減少により1,693,178千円(前連結会計年度末比81,094千円減少)となりました。

(イ)負債

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に買掛金、未払金及び未払費用、借入金の減少により444,437千円(前連結会計年度末比54,034千円減少)となりました。

(ウ)純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の減少により1,248,740千円(前連結会計年度末比27,060千円減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,733	622,193
受取手形及び売掛金	425,695	352,029
その他	46,486	48,254
貸倒引当金	△1,143	△1,123
流動資産合計	1,127,771	1,021,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,966	71,966
減価償却累計額	△45,383	△47,055
建物及び構築物(純額)	26,582	24,910
工具、器具及び備品	348,991	367,526
減価償却累計額	△287,067	△294,761
工具、器具及び備品(純額)	61,923	72,765
その他	—	9,259
有形固定資産合計	88,506	106,934
無形固定資産		
ソフトウェア	49,592	46,269
ソフトウェア仮勘定	22,448	22,739
のれん	681	613
その他	15,152	15,241
無形固定資産合計	87,874	84,864
投資その他の資産		
投資有価証券	314,347	314,371
その他	247,427	230,751
貸倒引当金	△91,655	△65,097
投資その他の資産合計	470,119	480,025
固定資産合計	646,500	671,824
資産合計	1,774,272	1,693,178
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,881	48,839
未払金及び未払費用	208,481	209,650
未払法人税等	11,959	3,765
短期借入金	11,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	17,192	14,690
その他	97,769	89,597
流動負債合計	418,283	367,542
固定負債		
長期借入金	38,000	36,200
資産除去債務	32,485	32,525
その他	9,701	8,169
固定負債合計	80,187	76,894
負債合計	498,471	444,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,235	979,235

資本剰余金	949,035	949,035
利益剰余金	△657,014	△687,825
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,271,218	1,240,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	29
為替換算調整勘定	1,370	2,513
その他の包括利益累計額合計	1,384	2,543
新株予約権	1,876	4,270
少数株主持分	1,321	1,519
純資産合計	1,275,800	1,248,740
負債純資産合計	1,774,272	1,693,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	809,783	698,340
売上原価	595,572	451,454
売上総利益	214,211	246,886
販売費及び一般管理費	331,251	301,804
営業損失(△)	△117,040	△54,917
営業外収益		
受取利息	214	195
貸倒引当金戻入額	320	26,578
為替差益	—	4,064
雑収入	77	2,330
営業外収益合計	612	33,168
営業外費用		
支払利息	547	277
貸倒引当金繰入額	8,400	—
為替差損	776	—
雑損失	88	0
営業外費用合計	9,811	278
経常損失(△)	△126,240	△22,027
特別利益		
新株予約権戻入益	1,302	—
特別利益合計	1,302	—
特別損失		
固定資産除却損	—	62
和解金	—	7,000
特別損失合計	—	7,062
税金等調整前四半期純損失(△)	△124,937	△29,089
法人税、住民税及び事業税	702	1,522
法人税等調整額	△16,072	—
法人税等合計	△15,370	1,522
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△109,567	△30,612
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△729	198
四半期純損失(△)	△108,838	△30,810

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△109,567	△30,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	15
為替換算調整勘定	2,138	1,143
その他の包括利益合計	2,134	1,158
四半期包括利益	△107,433	△29,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△106,704	△29,652
少数株主に係る四半期包括利益	△729	198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	161,293	266,439	16,872	222,699	142,477	809,783	—	809,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	430	918	2,098	△2,098	—
計	161,293	267,189	16,872	223,129	143,395	811,881	△2,098	809,783
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△13,122	111,410	△51,306	13,036	△1,740	58,276	△175,317	△117,040

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、Davia, Inc.よりパースデーカレンダーなどのウェブサイト(Davia.com)及び有料アプリなどのデジタルグリーティングカード事業を譲り受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては54,208千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	126,908	281,636	42,138	214,736	32,921	698,340	—	698,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	33	—	783	△783	—
計	126,908	282,386	42,138	214,769	32,921	699,123	△783	698,340
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	327	112,228	△22,245	△14,558	△1,253	74,499	△129,417	△54,917

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。